

会津の大工道具 と鍛冶屋



北海道に残された会津の窓鋸



会津の鍛冶屋による鉋刃

一般公開

講師は会場で発表します

福島県会津地方は、近世から近代にかけて東日本を代表する**大工道具の一大産地**であった。**鋸**や**鑿**・**鉋**などが有名で、屋号「中屋」を名乗る**鋸鍛冶**や刀匠の系譜を引く**刃物鍛冶**など多くの職人が活躍していた。

なかでも「天王寺鋸」と呼ばれる伐採用の**手曲がり鋸**は、明治期以降の北海道開拓に多く使用されるなど各地に流通した。

今回は報告者（講師）がかつて担当した企画展「匠のふるさと会津一技と祈りの建築文化誌ー」（2018年／福島県立博物館）の内容とその後の調査の成果をもとに、会津地方における**大工道具の生産や流通**の事例について話題提供を行います。

のこぎりのみ かな

講師：内山大介氏

淑徳大学地域創生学部 教授。
専門は民俗学、博物館学。福島県立博物館等を経て現職。主な研究テーマは建築職人の社会史的研究、祭礼・祈願の傘鉾の地域的展開に関する研究、災害と博物館をめぐる資料論的研究。共著は『山口弥一郎のみた東北』（文化書房博文社、2022年）、『現代民俗学考』（春風社、2021年）、『ふくしま再生と歴史・文化遺産』（山川出版社、2013年）など。

日時 2025年 対面・オンラインの併用開催です
1月25日(土) 15:00-17:00

主催 一般社団法人 日本民俗建築学会

参加費 ●オンラインは無料／●会場参加は500円

無料 オンライン (Zoom) 視聴

一般の方は以下をメールでお送りください。
申込後に URL をお知らせします
「氏名・人数・アドレス・電話番号」を明記し
件名「民俗建築学会研究会zoom視聴申込」で
nagune2000@yahoo.co.jp あてにメール

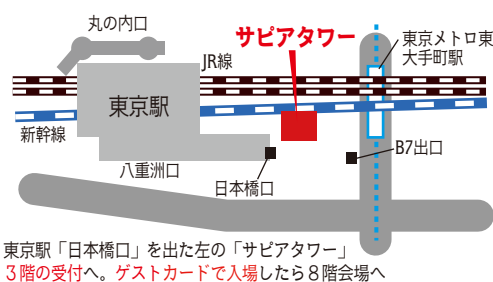


有料 会場での対面受講

立命館東京キャンパス教室5
東京都千代田区丸の内1丁目7-12 サビアタワー内
(東京駅日本橋口 徒歩1分)

研究会参加費 500円 (学生無料)

会場受講には**予約が必須**です。①メールまたは②ハガキでお申し込みください▶▶
「名前・住所・電話番号・人数」を明記してください。メールはnagune2000@yahoo.co.jp まで。



東京駅「日本橋口」を出た左の「サビアタワー」3階の受付へ。ゲストカードで入場したら8階会場へ

▼切り取ってハガキに貼付してください

162-0834

東京都新宿区北町18
一般社団法人
日本民俗建築学会 行

1月25日研究会【会場受講】申込